

# 徒然なる日記121017～言い訳を すること～

E-book推進協会

## 言い訳をすること

---

タイトルにしておきながら、自分は言い訳は嫌いだ。しないで済むならしたくない。相手や周りに迷惑をかけたり、失敗したりしたときに、言い訳はするものだ。だから、言い訳しないにこしたことはない。

でも失敗は誰しもするもの。その失敗の背景はそれぞれある。寝坊した、うっかりした、と他愛ない言い訳はむしろすべきでないだろう。叱責も甘受したほうがいい。

でも、生い立ちや立場の違いから来るちょっとした摩擦や意見の衝突というのは、人間どうしがコミュニケーションを図るうえでは必ず生じる。そうしたときには言い訳は積極的にしたほうがいいと思う。相手が年長だったりして、結局は自分が至らなかったのだと、後で気づいたとしても、言い訳はしたほうがいい。言い訳を聞かされる相手は別に気持ちよくはないだろうが、それで相手がずばっと言い訳の粗をついてくれればしめたもの。自分が悪かったと気づかされ、同じ失敗や同じ衝突を避けるようになるから。

誰しもわざわざ怒られたりしないだろう。できればほめられたい。けど若さゆえ、無知ゆえの失敗はたくさんある。これまでもこれから、死ぬまでに大小あわせれば1日1個以上、失敗するだろう。

だから、失敗を恐れることはない。失敗を多くする人ほど伸びる。そして、その失敗がなぜ起きたか、考えよう。そして、迷惑をかけた相手に嫌がられても「こうしたら良いと思ったが」と言ってみよう。相手は嫌々、呆れ、叱責口調で自分を責めるかもしれないが、その中で1つでも教訓となる言葉を得られればそれだけで失敗して良かったと思える。

そうして教訓を積み重ねよう。そのために、自分が成長するために言い訳はあるのだ。厄介で無用でしばしば否定的な文脈で使われる言い訳、その効用を考えてみた。

2012年10月17日記す